

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価計画

達成度(評価)
 A: 十分達成できている
 B: おおむね達成できている
 C: やや不十分である
 D: 不十分である

学校名	唐津市立大良小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上、心の教育、特別支援教育等、職員が組織的に教育活動を進めることができ、校内評価の最終評価において、A評価が8項目中7項目あった。関係者評価はすべてA評価だった。 前年度は校内研で取り組む教科を国語科と特別の教科道徳とした。児童が道徳の授業を好意的にとらえているとともに、保護者にも「学校は道徳・人権教育を行っている」と評価してもらった。今後も継続して心の教育にあたっていく。 安全教育に関して、交通安全教室を開いたり、下校指導を行ったりして、児童の安全に対する意識づけをした。大きな事故やけがもなく過ごした。引き続き危機管理意識を持ち、指導していく。 大好き良い子カードを活用しながら、児童が生活習慣を整えたり、ゲームや動画の視聴時間を自分でコントロールしたりできるように指導していく。
------------------	--

2 学校教育目標	<p>心豊かで 自他ともに大切にし 共に学び合う たくましい子どもの育成</p> <p>～かしこく、たたく、たくましく～</p>
----------	--

3 本年度の重点目標	<p>○かしこい子ども よく見て、よく聴き、考えを持ち、伝え合う子</p> <p>○たたく子ども 自分も周りの人も大切にする子ども</p> <p>○たくましい子ども 基本的な生活習慣が整い、元気が落ち着きのある子ども</p> <p>→ 三方向から ← 三方向へ</p> <p>新たな活動に向かう 「心のバネ」 ※心のバネ…自己肯定感を土台に達成感や満足感のある活動を仕組み、それが次の新しい活動への興味・関心・指向性へとつながる心のはたらき</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価				主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	○課題解決のため、めあて達成のため の手段として、授業に伝え合う活動 を取り入れる。	○自分の意見や感想を発表すること が楽しいと感じる児童を70%以上に する。	・話し合い活動をすることで課題を解決したり めあてを達成したりする授業や発問を工夫す る。 ・相手の意見をよく聞き、自分の意見と比べ、 相互につながりのある発言ができるように支 援・指導する。			
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重す る心、他者への思いやりや社会性、倫 理観や正義感、感動する心など、豊か な心を身に付ける教育活動。	○道徳に関するアンケートにおいて肯 定的な回答をした児童の割合を90% 以上にする。	・道徳の時間にも「伝え合う活動」を積極的 に取り入れ、多様な考えを認め合い、豊かな 心が育つようして支援、指導する。 ・年に1回「ふれあい道徳」を実施し、授業 を地域や保護者に公開することで、連携して 道徳的な心育を育てていく。							道徳教育推進教師 心ゆたか部
	●いじめの早期発見、早期対応に向 けた取組の充実。	○「学校が楽しい」と感じる児童の割 合を85%以上にする。	・児童の発達段階に応じたいじめ防止に 関する授業を1回以上行う。 ・年間2回以上「学校生活アンケート」を 実施し、早期発見、早期対応に向けて取 組む。							生活指導担当 人権同和教育担当
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その 実現に向けて意欲的に取り組もうとす るための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認 めてくれていると思う」と回答した児童 の割合を85%以上にする。 ●「将来の夢や目標を持っている」に ついて肯定的な回答をした児童の割 合を85%以上にする。	・児童の資質・能力を伸ばす授業づくりに 取り組むとともに、様々な体験活動を実 施して、児童の豊かな心の成長を促す。 ・「より良い学校にするためのアンケート」 を年2回以上行い、児童の自己有用感、 自己達成感を把握し、指導に結び付ける。							各担任 心ゆたか部
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の形成。	○「大好き良い子カード」の生活チェ ックの点数が85点以上の児童を80%以 上にする。	・「大好き良い子カード」の自己評価など を参考に、月ごとに成長や高得点維持につ いて賞賛していく。 ・ノーテレビノーゲームデーを毎月1回 設定し、結果を育友会と共有する。また、 保護者への周知を行う。							体づくり部 心ゆたか部
	●「安全に関する資質・能力の育成」	●児童生徒の交通事故を0(ゼロ)に する。	・下校指導において、登下校中の交通 安全、日常生活で安全に関する事項の 意識づけを行う。 ・年度初めの交通安全教室と年度後期 に次年度の通学に向けた安全教室を 実施する。							生活指導担当 体づくり部
●業務改善・教職員の働き 方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等 時間の削減。	●教育委員会規則に掲げる時間外 在校等時間の上限を遵守する。	・金曜日を定時退勤日として設定し、 呼びかけを行い、実践を促す。 ・業務を1人で抱え込むことがない ようにサポート体制を作る。							管理職
●特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上。	○教育活動や教室環境のUD化に努 める教員の割合を90%以上にする。 ○特別支援教育に関する研修を年3 回以上実施する。	・児童理解協議会を定期的に実施し、 支援が必要な児童の把握、具体的支援 について共通理解を図り、全員で実践 する。 ・講師を招いての研修を行い、特別 支援教育に関する専門性を身に付ける。							特別支援教育担当

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価				主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				○閉校、3校統合に向けた 取組	○閉校、統合に向けた取組の推進。	○閉校に向けた取組を確実に実施す る。 ○安心して統合できるとする児童の割 合を95%以上にする。	・閉校式に向けて、保護者、地域の方々と 連携を図る。 ・統合に向けた内容のアンケートを 実施し、実態把握をし、支援する。			

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
--------------------	---